



～季節の花便り～

一足早い春を感じませんか？

ナノハナ **3分咲き** です！

冬咲きの原種系スイセンも開花中です。



平成二十一年一月四日撮影

謹啓 新春の候 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

ひたち海浜公園から新年最初にご案内する花は、日差しを浴びて金色に輝く、春花の代表「ナノハナ」です。西口エリアの「スイセンの丘」では、一足早くナノハナの早咲き品種が3分咲きとなっています。

寒さ厳しいこの時期、ご来園いただいたお客様に陽春を思わせる風景を楽しんでいただこうと、今年から「スイセンの丘」の北東側に、耐寒性が強く、厳寒期に咲くナノハナの品種“伏見寒咲(ふしみかんだき)”75,000本を植えました。暦の上では、間もなく一年で最も寒さの厳しい「大寒」(1月20日頃)ですが、寒さに耐え、健気に花を咲かせたナノハナは、一足早い春を感じさせてくれます。

なお、隣接するスイセンの「品種見本園」では、冬咲きの原種系ミニスイセン“メサランティカス”も咲き始めましたので併せてご案内いたします。

本年も、ひたち海浜公園では、大面積でお楽しみいただける花だけでなく、ナノハナをはじめ魅力溢れる花々を順次ご紹介させていただきますので、どうぞご期待下さい。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。

謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

開花

“伏見寒咲”（早咲き）：12月下旬～1月下旬

“春陽”：4月上旬～下旬

“農林20号”：4月上旬～5月下旬

春を彩る花の代表

ナノハナ

【ナノハナとは】

アブラナ科の一年草で、原産地は南ヨーロッパです。

花が咲いた後、中に1mm 程の無数の種が入った細長い莢状^{さや}の実を付けます。種は油分が多く、種を絞ると菜種油（なたねあぶら）が採れます。

また、「菜の花」という名は“野菜の花”という意味から名付けられ、ほろ苦さと独特の香りがあり、サラダやあえ物などの食用になります。



【ひたち海浜公園のナノハナ】

本公園では、趣の異なる4つの花畑にナノハナを植えています。

■スイセンの丘（開花：12月下旬～1月下旬）

試験的にナノハナを導入した昨年は遅咲き品種でしたが、今年は耐寒性が強く、厳寒期に咲く品種を植えています。

品種：伏見寒咲（ふしみかんざき）（早咲き品種）

面積：約 1,000 m²

本数：75,000 本



スイセンの丘

■大草原フラワーガーデン（開花：4月上旬～下旬）

平成9年からナノハナをお楽しみいただいています。草丈60～80cm程の高さに咲き揃った黄色い絨毯は、サイクリングをしながらご覧いただくのがお勧めです。

品種：春陽（しゅんよう）

面積：約 6,000 m²

本数：500,000 本



大草原フラワーガーデン

■泉の広場（開花：4月上旬～下旬）

平成15年からナノハナをお楽しみいただいています。花の少ない南口エリアで、お客様をお迎えするひとときわ鮮やかな彩りとなります。

品種：春陽（しゅんよう）

面積：約 800 m²

本数：50,000 本



泉の広場

■みはらしの里（開花：4月上旬～5月下旬）

昨秋、試験的に菜種油の採れる品種の播種を行いました。

また初の試みとして、みはらしの丘のネモフィラの開花時期に併せ、丘から里のナノハナ畑を見下ろすと、ひたちなか市に縁の深い農作物をデザインした地上絵が浮かび上がる仕掛けを施しました。詳細は追ってご案内しますのでご期待下さい！

品種：農林20号

面積：約 3,100 m²

本数：250,000 本

※みはらしの里の“農林20号”以外は花を觀賞する目的で改良された園芸品種のため、油を採ることができません。

開花: 12月下旬~1月中旬

メサトランティカス

【メサトランティカスとは】

ヒガンバナ科スイセン属で、原種に分類される早咲きスイセンの品種です。15cm程の草丈に、小さなクリーム色の可愛い花を付けます。スイセンの他の多くの品種がまだ芽を出さないうちに開花します。

ひたち海浜公園では、スイセンの「品種見本園」に約 30 株植えており、1月中旬頃までお楽しみいただけます。



トピックス ひたち海浜公園 冬~早春の花ごよみ

本格的な春が待ち遠しい中、ひたち海浜公園では、数は少ないものの寒さに耐え花を咲かせるさまざまな魅力ある花をお楽しみいただけます。

詳細は順次ご紹介いたしますので、どうぞご期待下さい！

次回ご紹介!!

◆クリスマスローズ (1月中旬~4月上旬) 3,000 株

冬の貴婦人とも呼ばれる気品ある姿で、冬の公園を彩ります。花期が長いことも特徴です。

公園ボランティア“ハーブパートナー”が手入れをする「香りの谷」を中心として、ご覧いただくことができます。



クリスマスローズ

◆スノードロップ (1月下旬~3月上旬) 600 本

「雪のしずく」との別名があります。耐寒性が強く、厳寒期に白く可憐な花を咲かせます。

公園ボランティア“ひたちガーデナーズ倶楽部”が手入れをする「ワイルドバルブガーデン」でお楽しみいただけます。



スノードロップ

◆クロッカス (2月下旬~3月中旬) 65,000 株

ヨーロッパでは「幸福の使者」とも呼ばれ、春を告げる花として知られています。

西口エリアの大噴水と対峙するようにひょっこりと顔を出したひょうきんな姿をご覧ください。



クロッカス

◆早咲きスイセン “ラインベルトアーリーセンセーション” (3月上旬~3月下旬) 32,000 本

純黄色の大型ラップスイセンで、早春のほかの品種がまだ芽をださないうちに開花する極早生種です。

現在ナノハナが咲いている「スイセンの丘」の南西側斜面で、3月上旬頃からお楽しみいただけます。



ラインベルト・アーリーセンセーション



平成 21 年 1 月 6 日 撮影